

ACPA スキル認定証明書 活用事例

早稲田大学 政治経済学部4年 田島 良太 さん

認定科目：早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）

ACPAメイト登録：2011年3月 / 証明書取得時期：2011年3月

内定：4社 / 12社 （就職先企業：国際石油開発帝石株式会社）

どうして『スキル認定証明書』を取得しようと思いましたか？

就職活動を控えているとき、学内のポスターで『スキル認定証明書』の存在を知り、これは就職活動に役立つと考えてすぐに取得しようと思いました。

エントリーシートなどに『スキル認定証明書』についてなんらかの記載をしましたか？

「特技・資格」欄に“ACPA（ITスキル）”と記載しました。

証明書をどのように利用しましたか？また、どのように役立ちましたか？

履歴書に毎回記載し、記載スペースには限りがあるため詳しく書くことはできませんでしたが、むしろそれが面接官から「これは何？」と質問される機会となりました。

（“ACPA（ITスキル）”とは何かを面接者はわかりませんので質問のきっかけづくりになります。）質問されたること自体、“儲けもの”だったと思います。



就職活動時、企業側から証明書について質問を受けたり、説明を求められましたか？

毎回質問をされました。

今回スキル取得した「早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）」はオープン科目なので、「将来的に自分のスキルになる科目を計画的に履修した」と説明しました。

自己PRではアルバイトの話題をメインにしていたのですが、アルバイト以外では？と質問されたときに、ゼミ活動やACPAの証明書取得を裏付けにし、勉強に熱心に取り組んだことを強くアピールできたことが大きな勝因となったと思います。

就職活動を振り返って印象的なことはありますか？

勉強に熱心に取り組んだことは間違いなく高評価につながったと思います。特に文系の学生は、アルバイト、旅行、ボランティア等を通じて得た経験をアピールすることが多くなりますが、ほぼ毎回それ以外の経験を聞かれました。その際、学校の勉強について強くアピールできたことは大きな差になったと確信しています。

証明書に関し他学生へのアドバイスがあればお願いします。

目的意識を持って学校の勉強に取り組んだことをアピールできるのは大きな強みです。

ただ漠然と単位取得のために履修科目を決めては勿体ないと思います。

ACPAのスキル認定証明書は、学校の勉強にきちんと取り組んだ結果としてついてくるもので、単なる資格取得とは異なります。そこが大きな魅力であり、企業からもその姿勢が評価されました。

これから就職活動を控える後輩に、ACPA認定科目の履修を是非すすめます。

ACPAスキル認定証明書 活用のPOINT：

- エントリーシートには『スキル認定証明書』取得について毎回記入。面接官に質問されることを狙う！
- 学校の勉強に計画的に力を入れてきたことの裏付けとして『スキル認定証明書』を使う！
- 文系の学生にとって“学校の勉強を頑張ってきた”ことをアピールポイントとするのも1つの手。